

日本分析化学会九州支部

支部ニュース

第25号 2012年3月



九州支部ウェブサイト

http://www.jsac.or.jp/~jsac_kyushu/

2011年度 日本分析化学会九州支部

〒819-0395 福岡市西区元岡 744

九州大学大学院工学研究院

新旧支部長からのごあいさつ

支部長就任のご挨拶

この度、2012年度の九州支部長を拝命いたしました甲斐でございます。私は、1998年4月九州大学薬学部（薬品分析化学講座）より、長崎大学薬学部へ転出し、現在、同大学医歯薬学総合研究科（薬学部）の機能性分子化学分野を担当しております。九州大学在籍中は、当時では最新機器であったHPLCを用いて複雑な生体成分から特定の薬物や生理活性物質の高感度測定法に関する技術開発を行い、長崎大学では、若い時に培った分析技術を基盤にして、生体の高機能性物質である遺伝子核酸及び酵素タンパク質類をターゲットにした新規の病態診断法や創薬等の開発研究に取り組んでおります。

さて、昨年3月の東日本大震災及び福島原発事故から早一年経とうとしておりますが、未だ、日本は閉塞感が漂っております。しかしながら、今後、日本社会が大いに元気になることを期待して、九州支部の学会活動を、より活性化する方向で頑張っていきたいと思っております。

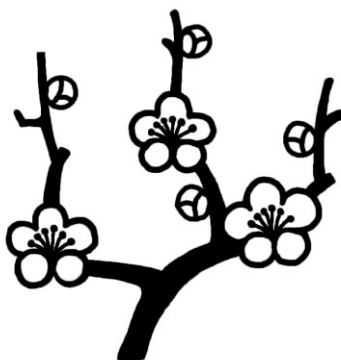
平成24年度に予定されている支部活動の大きなイベントは、鹿児島大学工学部肥後盛秀先生が中心になって磐石に準備しておられます第72回分析化学討論会であります。開催日は5月19-20日、会場は鹿児島大学工学部であります。これを機に、九州支部会員の皆様、特に学生や若手の先生方の多くのご参集と活発なご討論をお願い申し上げる次第であります。また、九州支部若手の会の事業である春の講演会（会場、福岡大学）と夏季セミナー（会場、国民休暇村指宿）は、それぞれ、福岡大学薬学部吉田秀幸先生および鹿児島大学理学部神崎 亮先生のお世話で開催し、九州大学農学部下田満哉先生のお世話による分析化学講習会、化学関連支部合同九州大会、機器分析ワークショップ等の事業に関しても、本誌の後欄に詳しく案内が掲載されております。これらの支部活動へのご支援と、忌憚のないご意見やご要望をお寄せ下さるようお願い申し上げます。

九州支部の活性化には、会員数の増大が重要であります。特に大学院学生においては、積極的に、分析化学会の会員登録と九州分析化学会奨励賞への果敢な応募をお願いするところであります。なお、本年度の支部幹事会と見学会は、久しぶりに長崎の地で開催できるよう計画しております。本年一年間、微力ながら、支部活動の発展のために全力を注ぎたいと思っております。今後とも九州支部へのご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。



支部長退任にあたって

平成 23 年度日本分析化学会九州支部長を仰せつかっておりました九州大学工学研究院の片山です。支部長の任期を満了するにあたり、一言、御挨拶申し上げます。23 年度の支部ニュースで就任のご挨拶として、九州支部に対して抱負を述べましたが、思えば、行事をこなしていくのが精いっぱい、あっという間に 1 年間に過ぎてしまい、忸怩たる思いがございます。今年度は、3 月に未曾有の大震災があり、経済では欧州危機とタイでの洪水、急激な円高が追い打ちをかけ、日本にとって試練の 1 年であったように思います。また、九州支部では、私の恩師でもあり、分析化学会会長や支部長も歴任された高木誠先生が急逝なさり、夏には急きょ、追悼シンポジウムも開催させていただきました。現在、我が国は色々な意味で岐路に立たされています。分析化学会でも年々会員数が減少しており、現在のままの活動を続けければ、分析化学という学問の存続も危ぶまれるでしょう。分析化学会本部でも活性化委員会の創設や、資格認証制度等改革を指向しております。我々会員個々人も、新しい時代に求められる分析化学は何であるのか、再度問い直してみることは無駄ではないように思います。24 年度は、長崎大学薬学部の甲斐先生のもとで、公益法人化最初の年の九州支部がスタートいたします。これまでの私の力不足の運営をお支え頂きました皆様に心よりの感謝を申し上げますとともに、新しい九州支部になお一層の皆様のご支援をお願いして、退任の御挨拶とさせていただきます。



2011年度支部活動報告

❖ 第24回九州分析化学若手の会 春の講演会 ❖

期日：2011年5月28日(土)

主催：九州分析化学若手の会、日本化学会九州支部

世話人：宗 伸明(佐賀大学)

*詳しくは、支部ニュース第24号をご覧ください。

❖ 第48回 化学関連支部合同九州大会 ❖

主催：高分子学会九州支部、繊維学会西部支部、日本農芸化学会西日本支部、化学工学会九州支部、日本化学会九州支部、有機合成化学協会九州山口支部、日本分析化学会九州支部、電気化学会九州支部

期日：2011年7月9日(土) 9:00~17:00

会場：北九州国際会議場(北九州市)

依頼講演：(支部推薦)「生命現象解明のための新しい蛍光プローブの開発」王子田 彰夫(九大院薬)

九州分析化学ポスター賞：

多賀 優美(九大院工)「マイクロコンタクトプリンティングによる金ナノ構造の構築と機能化」

岩瀬 元希(福岡大理)「可視光応答型リンドープ酸化チタンの光触媒活性とリンのX線状態分析」

川本 大祐(九大院理)「Au/NiO 触媒の異なる還元操作がもたらす Au の変化」

高嶋 一平(九大院薬)「キサントン型亜鉛錯体によるポリリン酸種選択的な蛍光 OFF-ON 型センシング」

安部 優貴(九工大院情報工)「ランタノイド錯体修飾ピオチンリガーゼを利用したタンパク質の蛍光分析」

❖ 第52回 分析化学講習会 ❖

主催：日本分析化学会九州支部

共催：福岡市、九州大学学術研究都市推進機構、日本化学会九州支部、電気化学会九州支部、日本薬学会九州支部、日本食品科学工学会西日

本支部、日本農芸化学会西日本支部、日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部、日本臨床化学会九州支部、日本水環境学会九州支部、福岡県環境計量証明事業協会

期日：2011年8月3日(水) ~ 5日(金)

会場：九州大学伊都キャンパス・福岡市産学連携交流センター

実行委員長：吉村 和久(九州大学)

*詳しくは、支部ニュース第24号をご覧ください。

❖ 高木 誠 先生 追悼講演会 ❖

主催：日本分析化学会九州支部

期日：2011年8月6日(土)

会場：九州大学馬出病院キャンパス・百年講堂(中ホール3)

プログラム：

1. 開会挨拶 片山 佳樹(九州大学)
2. 「高木先生から得たもの：分離機能膜と超分子分析試薬」早下 隆士(上智大学)
3. 「分子認識を医療へ。高木先生から受け継いだこと」村田 正治(九州大学)
4. 「高木先生から学んだ研究姿勢：生体成分を対象とした新規な分析系の構築」末田 慎二(九州工業大学)
5. 「超分子化学を応用したバイオセンシングシステムの開発」佐藤 しのぶ(九州工業大学)
6. 「異種物質の融合がもたらす新奇物性：高木先生の教え」前田 瑞夫(理化学研究所)
7. 閉会挨拶 志賀 匡宣((株)同仁化学研究所)

❖ 2011年度 支部講演会 ❖

期日：2011年11月18日(金) 10:00~12:00 会場：九州大学馬出キャンパス 薬学部 第4講義室講演：

「バイオメディカル分野における高機能標識試薬及び分析法の創成」(2011年度九州分析化学会賞受賞講演) 財津 潔(九州大学名誉教授)

「島津製作所の分子イメージング技術への取り組み」山口 亮((株)島津製作所 分析計測事業部)

「同仁化学研究所の紹介とトピックス」池上 天((株)同仁化学研究所)

*講演会終了後、熊本に移動して見学会((株)同仁化学研究所)が開催されました(後述)。

❖ 2011年度 機器分析ワークショップ ❖

(株)ジェイ・サイエンス西日本の川上様、松尾様、今村様のお世話で、以下の通り、佐賀と大分で機器分析ワークショップを開催しました。参加者へのアンケート調査の結果、たいへん好評でした。

● 佐賀会場

期日：2011年5月24日(火) 13:30~16:45

会場：佐賀大学理工学部6号館2階多目的セミナー室

主催：日本分析化学会九州支部

共催：株式会社ジェイ・サイエンス西日本

後援：サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社、エーエムアール株式会社、日本ダイオネクス株式会社

テーマ：『かざすだけ』のMS直接分析(DART)とベンチトップ型高分解能FT-MS(Exactive)及び広範囲イオンクロマトグラフィーの紹介

● 大分会場

期日：2011年5月25日(水) 13:30~16:45

会場：総合文化センター

主催：日本分析化学会九州支部

共催：株式会社ジェイ・サイエンス西日本

後援：サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社、エーエムアール株式会社、日本ダイオネクス株式会社

テーマ：GC/MS装置解析法と環境試料の適用

❖ 会議等 ❖

● 九州分析化学会賞・九州分析化学奨励賞選考委員会

期日：2011年6月4日(土)

会場：九州大学工学部ウェスト4号館3階314号室

選考委員長：甲斐 雅亮(長崎大学)

*2011年度九州分析化学受賞者1名、九州分析化学奨励賞受賞者5名については、支部ニュース24号をご覧ください。

● 2011年度第1回常任幹事会

期日：2011年6月25日(土)

会場：九州大学工学部ウェスト3号館2階応用化学部門会議室

● 学会賞候補者推薦委員会

期日：2011年11月17日(木)

会場：九州大学馬出キャンパス 総合研究棟 2階セミナー室 203

● 2011年度幹事会

期日：2011年11月17日(木)

会場：九州大学馬出キャンパス 総合研究棟 1階セミナー室 105

● 2011年度支部講演会

期日：2011年11月18日(金) 10:00~12:00

会場：九州大学馬出キャンパス 薬学部 第4講義室

● 2011年度第2回常任幹事会

期日：2012年2月18日(土)

会場：九州大学馬出キャンパス総合研究棟 1階セミナー室 105

● 第72回分析化学討論会プログラム委員会

期日：2012年2月18日(土)

会場：九州大学馬出キャンパス総合研究棟 1階セミナー室 105

❖ 第 29 回 九州分析化学若手の会 夏季セミナー ❖

2011 年 7 月 28 日(木)・29 日(金)の 1 泊 2 日の日程で、北九州市の国民宿舎めかり山荘を会場として第 29 回九州分析化学若手の会夏季セミナーを開催しました。この夏季セミナーは 1983 年から開催されており、九州地区における分析化学関連の若手教員や大学院生を中心に情報交換と親睦を目的に講演会・ポスター発表及び情報交換会などを行っています。今回の参加者数は、招待参加者を含め計 139 名となりました。

世話人である井倉（九大院農）による開会宣言の後、第 48 回化学関連支部合同九州大会の分析化学部門優秀ポスター賞受賞者のうち、本セミナーに参加した 4 名による模範ポスター発表が行われました。発表者は岩瀬元希君（福岡大理）、川本大祐君（九大院理）、高嶋一平君（九大院薬）、安部優貴君（九工大院情報工）であり、座長は大島達也先生（宮崎大工）、宗伸明先生（佐賀大農）、巴山忠先生（福岡大薬）、糸山美紀先生（福岡大薬）にそれぞれご担当いただきました。

次いで、67 件の一般ポスター発表が行われ、活発な議論が行われました。また、参加者全員により一般ポスター講演の学生発表分から九州分析化学若手賞選出のための投票が行われました。集計の結果、本年度の九州分析化学若手賞には、村岡景太君（北大院総合化学・M1）、多田貴則君（北大院総合化学・M1）、山隈龍馬君（佐賀大院工・M2）、後藤しおり君（福岡大薬・B5）、川並洋司君（九大院理・M2）、千原光貴君（長崎大院医歯薬・M2）、湊上由貴君（長崎大院医歯薬・M2）、小西涼子君（九大薬・B6）、伊藤悠輔君（九大院薬・M1）の計 9 名が選出されま

した。

休憩後、2011 年度九州分析化学奨励賞の表彰式が行われ、九州大学大学院工学研究院の片山佳樹支部長より受賞者に表彰状および副賞が手渡されました。奨励賞受賞講演は日程の都合上、2 日目に行うこととし、引き続き 2 題の特別講演を行いました。特別講演の 1 題目は北海道支部よりお招きした坪井泰之先生（北大院理&JST さきがけ）に、「局在プラズモンが誘起する非線形光化学：ナノ空間での反応・捕捉・分光」に関して井上高教先生（大分大工）の座長でご講演をいただき、2 題目は東信和先生（日本たばこ産業（株）たばこ中央研究所・副所長）に、「たばこの香りの研究と分析技術」に関して石川洋哉先生（福女大国際文理）の座長でご講演をいただきました。両講演ともに大変興味深く、研究者を目指す学生だけではなく、我々教員にとっても大変刺激となる講演でした。

夕食時には九州分析化学若手賞の表彰式が行われ、片山支部長より受賞者に表彰状および副賞が手渡されました。また、研究室紹介も行われ、賑やかな夕餉が終わると、引き続き別室で情報交換会を行い、研究室間の親睦が深められました。

2 日目は、朝食後、九州分析化学若手の会総会を開催し、年間行事と会計について夏季セミナー世話人の井倉より報告が行われました。

続いて 2011 年度九州分析化学奨励賞の受賞講演が行われました。まず、松井大宣君（九大院工）による「ガスクロマトグラフィー/多光子イオン化/飛行時間型質量分析法を用いたポリ塩化ビフェニルの分析」に関する講演（座長 吉田秀幸先生（福岡大



薬))が行われ、次に吉永尚生君(九大院工)による「原子間力顕微鏡を用いた遺伝子一塩基変異の新規検出法に関する研究」に関する講演(座長 岸川直哉先生(長崎大医歯薬))、江藤真由美君(九大院理)による「アルミニウムイオン(Al^{3+})とポリアクリル酸間の相互作用:環境中における腐食物質と Al^{3+} 間の相互作用に関するモデル研究」に関する講演(座長 栗崎弘輔先生(九大院理))、宋雪旦君(九大院理)による「プロトン性イオン液体の液体構造-物性相関に関する分析化学的研究」に関する講演(座長 神崎亮先生(鹿児島大理))が行われ、最後に坂口洋平君(福岡大薬)による「フルオラス化学を基盤とする分離指向性誘導体化 LC 法の開発」に関する講演(座長 浜瀬健司先生(九大院薬))が行われました。短い講演時間にも関わらず、会場から活発な質問がなされました。受賞者の方々のこれからの益々のご活躍と将来の支部への貢献が期待されます。

閉会式では、来年度代表世話人の神崎先生(鹿児島大理)が挨拶をされ、最後に講演会場で集合写真の撮影を行ない、全プログラムを終了しました。

❖ 2011年度 支部見学会 ❖

2011年11月18日(金)、試薬の開発・製造・販売を行っている株式会社 同仁化学研究所の本社工場見学会が開催された。同日の午前、九州大学馬出キャンパスで行われた支部講演会終了後、見学会参加者20名は貸切バスにて見学会会場へ移動した。同社は、熊本市から阿蘇方面へ向かった熊本空港の近くのテクノ・リサーチパーク内に位置している。当日は、朝から雨天であったものの、バスはほぼ定刻に到着し、見学会は開始された。

見学会の冒頭、同仁化学研究所の志賀匡宣 試薬開発本部長による挨拶があり、その後、DVDによる会社紹介が行われた。同社は、有機化学合成を基盤技術とした試薬の開発・製造を行っており、その製品は医薬・環境・食品の分野を中心に利用されている。また、欧米・アジアへも拠点を増やし、海外展開を積極的に実施している。

会社紹介の後、開発部スタッフ3名による新製品及び技術トピックスの説明が行われ、発表内容が低

本年度の夏季セミナーは九州支部からの助成に加え、北九州市からの助成金および多数の企業からの広告費や協賛をいただくことで無事開催することができました。この場をお借りして代表世話人より厚く御礼申し上げます。また、めかり山荘の皆様方には、様々な要望にお応えくださり心より感謝申し上げます。今回は残念ながら出席者が例年よりも下回りましたが、それでも約140名の方々にご参加いただきました。会場や運営で行き届かないところも多々あり、ご参加いただいた方々にはご迷惑をおかけいたしました。終了後の皆様の暖かいお言葉に大変慰められました。次回で夏季セミナーは早くも30回目の開催を迎えることとなります。節目の回ということもあり、これまでには無い企画も予定されていると聞いています。本稿を読まれている方々には、是非鹿児島は指宿へ足を運ばれますようお願い申し上げます。最後に講演者、座長の皆様、参加いただいた多くの方々、開催にご協力くださいました関係各位にこの場を借りて心より御礼申し上げます。(九州大学 井倉 則之)

分子有機化合物を用いた分析試薬に関わる話題のためか、学術学会さながらの質疑応答が展開される場面もあった。

その後、3つの班に分かれて、本社内の見学ルートに従って施設内の見学を行った。試薬には、測定対象や装置の種類に合うように商品のラインナップが要求されるとのことで、少量多品種の製品供給に対応するための大小様々な製造設備が備えられていた。少量の製造スケールで合成・精製を行う施設では、大学の実験室で使用されるものと同様の装置・器具が見受けられた。一方で、同社の主力製品である生化学用緩衝剤の製造現場では、1tスケールの反応釜や高さ10mを超える冷却管を備えた連続濃縮装置が稼動していた。

工場見学終了後、片山支部長が挨拶をされ、無事見学会を終了した。最後に、ご参加頂いた方々にこの場を借りて心より御礼申し上げます。

(同仁化学研究所 池上 天)

本部関連

❖ 第72回 分析化学討論会 ❖

期日：2012年5月19日(土)・20日(日)
会場：鹿児島大学郡元キャンパス
講演要旨切れ：2012年3月7日(水)
実行委員長：肥後 盛秀(鹿児島大学)
URL：http://apc.apc.kagoshima-u.ac.jp/%7etouron72/
e-mail：touron72@apc.kagoshima-u.ac.jp
討論主題：

1. 産業のチカラ・イノベーションの駆動力となる分析化学
2. 分析化学における現代の溶液反応化学
3. 環境影響評価と分析化学
4. ナノ分析化学の新展開

プログラム：

論文賞受賞講演、依頼講演、主題講演、一般講演(口頭、ポスター)、若手ポスター講演、テクノレビュー(口頭、ポスター)、展示会、懇親会

*詳細は後述

❖ 日本分析化学会 第61年会 ❖

期日：2012年9月19日(水)～21日(金)
会場：金沢大学角間キャンパス
詳細：「ぶんせき」誌 4、5月号に掲載予定

❖ Analytical Sciences 誌投稿のお願い ❖

私たちの学会が国際的に“強い”ジャーナルを持つことは、会員にとって、延いては我が国の科学の地位向上のために非常に重要です。Anal. Sci. 誌の編集委員会では、同誌の国際的競争力の向上を目指して努力しております。その一貫として、年間で最も引用された論文を“Most Cited Paper Award of Analytical Sciences”として、また、毎月各号においては“Hot Article”を選定して、それぞれ表彰させていただいております。投稿から印刷までの期間短縮

にも努めております(特に急がれる場合にはその旨、お伝えください)。良い研究成果ができましたら、Anal. Sci. 誌へのご投稿をご検討ください。また、是非は別にして、国際的競争力 = IF 値は否定できません。成果を他のジャーナルに投稿される場合でも、可能な範囲で Anal. Sci. の論文を引用してください。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

(編集委員 井原 敏博)

❖ 支部からの役員 ❖

理事：山口 敏男(福岡大学)

代議員：今坂 藤太郎(九州大学)、片山 佳樹(九州大学)、神崎 亮(鹿児島大学)、黒木 広明(第一薬科大学)、高椋 利幸(佐賀大学)、能田 均(福岡大学)、松井 利郎(九州大学)、柳 雅之(三井化学)、竹中 繁織(九州工業大学)

編集委員：

「ぶんせき」松井 利郎(九州大学)

「分析化学」神崎 亮(九州大学)

「Analytical Sciences」中野 幸二(九州大学)(本部推薦 井原 敏博(熊本大学)、富永 昌人(熊本大学))

❖ 入会を歓迎します ❖

個人会員数は5000人をきっています。あなたのお近くに日本分析化学会への入会を考えていただけそうな方がいらっしゃいませんか?是非、入会をお誘いください。支部の事務局へご連絡いただければ入会案内をお送り致します。また、入会をご検討中の方に対して、要望があれば、会長より支部をとおして機関誌の無料配布が行われるそうです。日本分析化学会の会員拡充にどうぞご協力ください。

(担当：庶務幹事)

今後の支部活動計画

❖ 支部活動・事業予定 ❖

● 第25回 九州分析化学若手の会春の講演会

期日：2012年5月26日(土) 13:30~17:30
会場：福岡大学七隈キャンパス A棟 AB02 教室
<http://www.fukuoka-u.ac.jp/aboutus/facilities/map.html>

講演：平井 昭司(東京都市大学)
浅野 比(山口東京理科大学)
森 健(九州大学)
高井 伸彦(長崎国際大学)
世話人：吉田 秀幸(福岡大学)

● 第49回 化学関連支部合同九州大会

期日：2012年6月30日(土) 9:00~17:00 会場：
北九州国際会議場

発表申込期間：3月1日(木)~3月30日(金)
予稿原稿〆切：5月11日(金)
依頼講演-8(分析化学部門推薦)：村田 正治(九州大学)「Theranostic(診断と治療の融合)~先端医療におけるナノ分析化学のフロンティア」
代表世話人：水本 博(九州大学、化学工学会九州支部) <http://www-lab6.chem-eng.kyushu-u.ac.jp/godo49/>
分析化学部門世話人：椛島 力(長崎大学)

● 第29回 九州分析化学若手の会夏季セミナー

期日：2012年7月27日(金)~28日(土)
会場：指宿シーサイドホテル(予定)
内容：

- ・総会
- ・九州分析化学奨励賞授与式・受賞講演
- ・模範ポスター発表(九州分析化学ポスター賞)
- ・招待講演(2件程度)
- ・若手の会30周年記念講演会
- ・ポスター発表
- ・若手の会30周年記念祝賀会(夕食時)
- ・若手の会30周年記念誌発行(要旨集と合冊)

参加費：一般 ¥8,500、会員学生 ¥7,500、非会員学生 ¥8,500

世話人：神崎 亮(鹿児島大学)

● 第53回 分析化学講習会

期日：8月8日(水)~10日(金)(以下すべて予定)
場所：1日目(8日)福岡市産学連携交流センター
2日目(9日)九州大学工学部(情報交換会 ビッグどら)
3日目(10日)九州大学工学部
代表世話人：下田 満哉(九州大学)

● 第25回 化学とマイクロ・ナノシステム研究会(共催)

期日：2012年5月17日(木)~18日(金)
会場：崇城大学
問合先：宮崎真佐也(産総研)
〒841-0052 佐賀県鳥栖市宿町 807-1
産業技術総合研究所 生産計測技術研究センター

❖ 第72回分析化学討論会 ❖

1月25日に講演申込を締め切りましたが、期待したよりも多い492件の申込をいただき、実行委員一同たいへん張り切っております。2月18日にプログラム編成委員会を開催し、プログラムと座長の原案を作成しました。以下にぶんせき3月号のお知らせから抜粋してご案内します。本大会が大盛況でありますように、皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

会期：2012年5月19日(土)・20日(日)

日程：5月19日 主題講演(口頭)、一般講演(口頭)、若手講演(ポスター)、テクノレビュー講演(口頭)、依頼講演、懇親会
5月20日 主題講演(口頭)、一般講演(口頭)、一般講演(ポスター)、テクノレビュー講演(口頭、ポスター)、依頼講演

会場：鹿児島大学郡元キャンパス〔鹿児島市郡元1-21-40〕

交通：JR 鹿児島中央駅から市電(「郡元行き」で工学部前電停下車)で約10分、一律運賃160円。タクシーは、JR 鹿児島中央駅から鹿児島

大学郡元キャンパス稲盛会館前まで約7分、約1,000円。鹿児島空港からJR鹿児島中央駅までの連絡バスは、約60分、運賃1,200円。]

※ 詳細は下記の実行委員会 Web サイトを参照ください。

実行委員会 Web サイト

<http://apc.apc.kagoshima-u.ac.jp/~touron72/>

鹿児島大学 Web サイト (交通案内)

<http://www.kagoshima-u.ac.jp/access/index.html>

● 懇親会

5月19日(土) 19時~21時30分

会場：鹿児島サンロイヤルホテル〔〒890-8581

鹿児島市与次郎 1-8-10、電話：099-253-2020、

交通：JR 鹿児島中央駅から市営バス 16-2 番線

「鴨池港行き」で与次郎 1 丁目下車、徒歩 2 分

または、市民文化ホール北口下車、徒歩 2 分〕

アクセス <http://www.sunroyal.co.jp/access/>

※ 討論会会場よりシャトルバスを運行予定です。詳細は上記の実行委員会 Web サイトを参照ください。

● 討論主題 (主題講演)

1. 産業のチカラ・イノベーションの駆動力となる分析化学

【依頼講演】

- 1) 研究者弁理士から見た知財のチカラ (小川弁理士事務所・九大名誉教授) 小川禎一郎
- 2) 高速 AFM 装置の事業化—その経緯と諸問題 (金沢大理工) 安藤 敏夫
- 3) 糖鎖を用いたナノバイオテクノロジーによるウイルスの高感度検出法 (鹿児島大院理工) 隅田 泰生
- 4) 鹿児島大学の知的財産活動 (鹿児島大産学官) 小池 保夫

2. 分析化学における現代の溶液反応化学

【依頼講演】

- 1) 溶液反応論が見出す面白い反応—溶液の希釈に伴って進行する金属—炭素結合生成反応 (甲南大理工) 岩月 聡史
- 2) イオンの溶媒間移行エネルギー理論の新展開 (神戸大院理) 大塚 利行
- 3) 拡張型の溶媒和概念に基づく均一・不均一溶

液系の自由エネルギー解析 (京大化研) 松林 伸幸

- 4) メソ多孔体中の水の状態分析 (福岡大理) 吉田 亨次

3. 環境影響評価と分析化学

【依頼講演】

- 1) 分析値の信頼性をどう評価するか?—標準物質・技能試験の活用— (産総研) 黒岩 貴芳
- 2) 水俣湾海水中に含まれる水銀濃度の季節変動とその特徴について (国立水俣病総研セ) 松山 明人
- 3) モンゴルの首都ウランバートルにおける汚染状況の可視化 (都城高専) 森茂 龍一

4. ナノ分析化学の新展開

【依頼講演】

- 1) チップ増強ラマン散乱法によるナノ分光分析 (関学大理工) 尾崎 幸洋
- 2) プラズモニクナノ粒子と分析科学 (九大院工) 山田 淳
- 3) 少数分子のプラズモニク化学 (北大院理) 村越 敬

● 参加予約申込方法

ぶんせき 2月号挟み込みの参加予約申込書 (討論会専用郵便振替用紙) に必要事項をもれなく記入し、参加登録料などの費用を参加予約申込締切日までに払い込みください。詳細はぶんせき 2月号を参照ください。

※ 講演発表をされる登壇者の方は、必ず参加登録をしてください。未登録のまま講演発表を行うことはできません。

● 参加登録料、懇親会参加費

参加登録料 (講演要旨集 1 部代を含む)

予約：会員 6,000 円、学生会員 3,000 円、会員外 10,000 円、会員外学生 5,000 円〔当日：会員 8,000 円、学生会員 4,000 円、会員外 10,000 円、会員外学生 5,000 円〕

※ 会員には団体会員に所属する方を含みます。維持会員は会員扱いになります。特別会員及び公益会員の場合は、1名に限り会員扱いとなります。

懇親会参加費

予約：8,000 円〔当日：10,000 円〕

参加予約申込締切日：4月25日(水)【当日消印有

効) 厳守

参加予約連絡先

〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2 五反田
サンハイツ 304 号 日本分析化学会第 72 回分析化学
学討論会係〔電話：03-3490-3351、FAX：03-3490-
3572〕

実行委員会連絡先

〒890-0065 鹿児島市郡元 1-21-40 鹿児島大学大学
院理工学研究科 化学生命・化学工学専攻内 第 72
回 分析化学討論会実行委員長 肥後盛秀〔電話：
099-285-8340、FAX：099-285-8342、E-mail：touron
72@apc.kagoshima-u.ac.jp〕

※ 講演プログラムはぶんせき 4 月号“お知らせ”欄に掲
載します。また、学会 Web サイトにも、速報版を 3 月中
旬に掲載の予定です。

◎ 付設展示会出展と広告のお願い ◎

主催：第 72 回分析化学討論会実行委員会
分析・計測機器関連のメーカー・販売会社、
分析技術提供会社との相互交流・情報交換の
場として、機器展示会及びカタログ展示会を
開催します。また講演要旨集に掲載する広告
を募集します。付設展示会と広告掲載にご協
力のほどお願い申し上げます。

－機器・カタログ出展募集－

展示日時：5 月 19 日（土）・20 日（日）（ただし、
20 日は 14 時までの予定）
会場：鹿児島大学郡元キャンパス（討論会ポスター
会場内）
展示料：機器展示 1 ブース（間口 180cm×奥行 80cm
の予定、单相 100V の電源を用意） 80,000
円、カタログ展示（A4 判サイズ基準）1 点
20,000 円、2 点 30,000 円（いずれも税別）
締切日：4 月 4 日（水）

※ カタログ、書籍及び長机上に設置できる機器の展示に
限る。装飾の類は請け負わない。機器展示ブースは申込順
に受付し、満コマになり次第締め切ります。

－広告掲載募集－

募集媒体：第 72 回分析化学討論会講演予稿集（5 月
5 日発行）

サイズ：A4 版（白黒）

掲載料金：表表紙の裏 90,000 円、裏表紙の裏
80,000 円、裏表紙 100,000 円、後付 1P 70,000
円、後付 1/2P 45,000 円、挟込 1 枚 100,000
円（いずれも税別）

申込締切日：4 月 4 日（水）

原稿締切日：4 月 6 日（金）

問合先・申込先

〒104-0061 東京都中央区銀座 7-12-4（友野本社ビ
ル）(株)明報社（担当：後藤）〔電話：03-3546-1337、
FAX：03-3546-6306〕E-mail: info@meihosha.co.jp

※ 展示と広告の申込方法等の詳細は(株)明報社にお問い合
わせください。

「安全環境計測法」シンポジウム

主催：日本学術振興会化学班分析部門

日時：5 月 19 日（土）15 時～17 時 30 分

会場：鹿児島大学郡元キャンパス（討論会場内）

講演：司会 今坂藤太郎（学振・九大院工）

（15:00～15:05）日本学術研究センター研究員の役
割並びにシンポジウムの趣旨（学振・九大院
工）今坂藤太郎

（15:05～15:35）日本学術振興会事業と学術システ
ム研究センターの果たす役割（学振 企画官）
箕作康志

（15:35～15:50）時限付き細目「安全環境計測法」
について（阪大 INSD）渡會 仁

（15:50～16:20）NMR による定量分析がもたらす
新たな分析技術の可能性（産総研）千葉光一

（16:20～16:50）違法薬物の分析とその課題（長崎
大院医歯薬）中島憲一郎

（16:50～17:10）安全・安心と環境計測のための高
性能分析機器の開発（学振・九大院工）今坂
藤太郎

（17:10～17:30）科学研究費の申請書作成などに関
する質疑応答

問合先：九州大学大学院工学研究院応用化学部門
今坂藤太郎〔電話：092-802-2883、E-mail：imasaka
@cstf.kyushu-u.ac.jp〕

**分析化学討論会（鹿児島）
若手ポストシンポジウム**

主催：日本分析化学会全国若手交流会・日本分析化学会九州支部若手の会

協賛：第 72 回分析化学討論会実行委員会

期日：5 月 20 日（日）の討論会終了後～21 日（月）
会場：古里温泉ふるさと観光ホテル〔〒891-1592 鹿児島県鹿児島市古里町 1076-1、
電話：099-221-3111（代）〕

参加費：未定（一般 ¥12,000 / 学生 ¥10,000 程度）

内容：

- ・支部若手の会活動報告
- ・講演会

1) イオン液体の界面は分子性溶媒の界面とどう違うのか？：界面分光による研究(京大院工)西 直哉

2) 実際のところの MS（産総研計測標準）津越 敬寿

- ・懇親会

申込方法：下記問合先まで直接お申し込みください。

申込締切：4 月 25 日（水）（討論会の参加予約申込締切日）

問合先：〒890-0065 鹿児島市郡元 1-21-35 鹿児島大学大学院 理工学研究科 神崎 亮〔電話：099-285-8106、E-mail：kanzaki@sci.kagoshima-u.ac.jp〕

● 執行部

支部長： 甲斐 雅亮（長崎大学）
次期支部長： 原田 明（九州大学）
副支部長： 浜瀬 健司（九州大学）
澤津橋 徹哉（三菱重工）
監査： 片山 佳樹（九州大学）
池上 天（同仁化学）
庶務幹事： 花島 力（長崎大学）
会計幹事： 柴田 孝之（長崎大学）

● 常任幹事（13 名）

| | |
|--------------|------------------------|
| （九工大・福教大） | 竹中 繁織（九州工業大学） |
| （九大院工） | 新留 康郎（九州大学） |
| （九大院理） | 宇都宮 聡（九州大学） |
| （九大院薬・第一薬大） | 黒木 広明（第一薬科大学） |
| （九大院農・九産大） | 下田 満哉（九州大学） |
| （九大院紫・近大九州工） | 原田 明（九州大学） |
| （福岡大） | 吉田 秀幸（福岡大学） |
| （佐賀） | 野口 英行（佐賀大学） |
| （長崎・熊本） | 中山 守雄（長崎大学） |
| （長崎・熊本） | 戸田 敬（熊本大学） |
| （大分・宮崎） | 井上 高教（大分大学） |
| （鹿児島・沖縄） | 富安 卓滋（鹿児島大学） |
| （企業・官公庁） | 森山 慶一（(株)ジェイ・サイエンス西日本） |



事務局より

❖ 各賞推薦依頼および規定 ❖

▼ 九州分析化学会賞応募規定（抜粋）

対象者：原則として九州在住の日本分析化学会の正会員にして、分析化学に関する研究、教育 及び九州支部の運営において功績が顕著であり、九州の分析化学の発展に多大なる貢献をした者で、受賞の年の1月1日現在、20年間以上引き続き本会会員であり、満65歳以下の者。

必要書類・締切：推薦者はA4 1枚の推薦書（指定用紙）及び被推薦者の業績目録、被推薦者本人による業績内容の説明文（図表等を含めA4 5枚程度、教育・支部運営についてA4 1枚程度、英文可）の正本1部、写し9部（計10部）を4月末日までに支部長に送付。

▼ 九州分析化学奨励賞応募規定（抜粋）

対象者：原則として、九州に在住する日本分析化学会会員で、受賞年度の4月1日において満30歳未満の者。ただし、修士課程（博士前期課程）及び博士課程（博士後期課程）に在籍する社会人 及び外国人留学生にあっては満35歳未満の者。非会員は受賞時までに日本分析化学会の入会申請をしなければならない。

必要書類・締切：推薦者はA4 1枚の推薦書（指定用紙）、被推薦者の論文目録、講演題目のリスト 及び論文等の別刷りの一部（複数可）、さらに被推薦者本人による研究内容の説明文（A4 2枚、英文可）及び図表等（5枚程度）の正本1部、写し8部（計9部）

を指定期日（受付期間：4月1日～30日）までに支部長に送付。

※募集要項の詳細は支部のホームページをご覧ください。申請に必要な書類ファイルもダウンロードできます。

❖ 編集後記 ❖

学部卒業生、大学院修了生の最後の発表が終わり、彼らとの別れを前に、いま、寂しさや安堵感の入り交じった、何となく落ち着かないこの季節独特の心持ちに包まれています。同時に、来年度からの研究テーマ・体制を考えながら、今年度の反省を踏まえ、今度こそ4月から全力でスタートダッシュを決めようと強く心に誓うのですが、これも毎年恒例のことで、また来年の3月にも、ほとんど同じような反省をしていることは確実です。

仕事をしない副支部長でした。如才ない庶務幹事の村田先生に頼りっぱなし... 慚愧の念でいっぱいです。この反省を踏まえて、来年度、もしチャンスがもらえたら、今度は完璧な副支部長をやれると思っています。...しかし、まことに遺憾ながら、副支部長を浜瀬先生にバトンタッチ致します。皆さんご存知の通り、浜瀬先生は、思慮深く、アイデアに富んだ、日本の分析化学界の若手リーダーのお一人です。機器分析ワークショップ、講演会、支部ニュースなど、意欲的な改革・改善により九州支部がより活性化されることを望みます。

（副支部長 井原）



2011 年度 日本分析化学会九州支部 事務局

〒 819-0395 福岡市西区元岡 744 九州大学 工学研究院応用化学部門

TEL & Fax: 092-802-2850

| | |
|------|--|
| 支部長 | 片山 佳樹 (九州大学大学院工学研究院) ykatatcm@mail.cstm.kyushu-u.ac.jp / 092-802-2850 |
| 副支部長 | 井原 敏博 (熊本大学大学院自然科学研究科) toshi@chem.kumamoto-u.ac.jp / 096-342-3873 |
| 副支部長 | 池上 天 (株式会社 同仁化学研究所) takashi@dojindo.co.jp / 096-286-1515 |
| 庶務幹事 | 村田 正治 (九州大学大学院医学研究院) m-murata@dem.med.kyushu-u.ac.jp / 092-642-6251 |
| 会計幹事 | 森 健 (九州大学大学院工学研究院) mori.takeshi.880@m.kyushu-u.ac.jp / 092-802-2849 |